

# あべともこニュース

## 補正予算成立、能登復興に向けた支援の拡充を！

### ◆補正予算、衆議院通過

12日、総額13兆9千億円の補正予算が衆議院を通過しました。立憲民主党が求めた「能登復興へ1千億円の予算を積み増す」という修正が組み込まれた。党としては、何でもかんでも補正に頼る予算の構造と、基金に積み増しが過大であることから、予算自体には反対しましたが、能登への補正が獲得された事は前進と受け止めています。

元旦の能登半島地震からの復旧もまだ生活レベルには及んでいません。先月27日に視察した際も、道路は基幹道路のみの修復、農道は手付かず、隆起した岸壁と土砂も堆積したままで、船を港につけることもできないことから、漁業もできないという切実な声を伺いました。

真の復旧とは、生業が戻ることであり、漁業、農業、ご商売などができる状態を取り戻すことで、その為に補正予算を使って欲しいと思います。

### ◆再エネ加速こそ最優先！

10日、超党派「原発ゼロ・再エネ100の会」は、国会エネルギー調査会（準備会）を開催、「GXから考える、これからのエネルギー政策」をテーマに、大島堅一氏（龍谷大学政策学部教授）と松久保肇氏（原子力資料情報室事務局長）からそれぞれ問題提起をいただきました。国のエネルギー政策の方針が示される「エネルギー基本計画」の3年ぶりの改訂に向け議論されていますが、1F事故後には、「原発への依存度を低減」とされていたところ、既存原発の建替えも含め、「最大限活用する」方針になるという報道が出ています。

そもそも原発は、建設から稼働までも長い年月がかかり、最終処分も確立されておらず、一度事故を起こしたら環境破壊も免れず、コスト高でしかありません。一方、太陽光や風力といった再生可能エネルギーは自然にも人類にも優しく、その供給率はもちろんNDC（温室効果ガス削減）にも寄与します。再エネ加速こそ最優先の課題です。

### ◆憎悪と報復の連鎖を超えて

イスラエルによるパレスチナガザ地区への攻撃が、大量無差別殺戮である事は論を俵ちません。女性や子どもたちが狙われ殺されています。国際司法裁判所ではジェノサイド防止命令に従わないイスラエルのネタニエフ首相に、逮捕状も出しているにもかかわらず…。

昨年10月7日のハマスの急襲によって、かつてのホロコーストの記憶を呼び覚まされたイスラエルは、報復を宣言し、ガザに人々を閉じ込めた上で激しい空爆を繰り返し、既に4万5千人近い人々が亡くなっています。

今回のハマスによる急襲以前には、実はイスラエルとパレスチナの戦争孤児を日本に招き、共に過ごし、相互理解を深めるという取り組みを京都府綾部市が行っていました。山間の自然豊かな町で何回も尋ねたことがあります。憎悪と報復の連鎖を断つべく、長年、この子どもたちの

交流に協力してきた市内の大本教を訪ねる。亀岡での命の研究会にも参加し、一日も早い停戦を祈りました。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）  
当選9回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともこ子ども  
クリニック（湘南台）理事長  
現在、環境委員会  
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ  
公式X (旧Twitter)  
@abe\_tomoko

[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



あべともこ事務所  
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ  検索



大本会館近くの紅葉